

公益社団法人小豆島青年会議所 2021年度						
50周年記念大会実行委員会概要						
	副理事長	東口和生	委員長	高橋寿明	副委員長	安達周代
事業計画名	コミュニケーション（会員親睦）事業の実施（5月）					
本事業に至る背景並びに現状分析（解決したい問題）	我々、小豆島青年会議所が50周年を迎えるにあたり、改めて小豆島青年会議所の歴史を学び、会員同志の交流を深め、より盤石な組織を築かなければなりません。そのために、強固な絆を構築する必要があります。					
事業目的	小豆島青年会議所の歴史を学ぶ 相互理解を深め円滑な関係性を築く組織の更なる一体化を目指す					
申請該当事業	他ー2会員親睦事業					
事業内容	小豆島青年会議所の歴史を学ぶ 会員同志が互いを知る場を設ける					
対象者（誰に向けて）	JCI小豆島 正会員24名					
その理由	会員親睦であるため					
手法（どんな事業をするか）	小豆島青年会議所の歴史を伝える グループディスカッションなどにより交流を深める					
その理由	小豆島青年会議所を知る 互いを理解し合うため					
パートナー（ステークホルダー）	シニア会					
その理由	これまで紡いできた小豆島青年会議所の歴史を学ぶため					
本事業で得られる効果	小豆島青年会議所の歴史を学びメンバーとして団体の存在意義と運動の目的意識を理解することによって組織力（気運）が高まる お互いを知ることによって信頼し合う関係性が構築し、50周年に向けての気運が高まる					

公益社団法人小豆島青年会議所 2021年度						
50周年記念大会実行委員会概要						
	副理事長	東口和生	委員長	高橋寿明	副委員長	安達周代
事業計画名	50周年記念大会PR事業（通年）					
本事業に至る背景並びに現状分析（解決したい問題）	小豆島青年会議所は2021年に創立50周年の佳節を迎えることとなります。 50周年記念式典・記念事業を開催することを広く知ってもらい、参加してもらう必要があります。					
事業目的	小豆島青年会議所が2021年に創立50周年を迎えることを知ってもらう 記念式典や記念事業に参加してもらうため					
申請該当事業	他ー1会員研修事業					
事業内容	50周年記念式典・記念事業を広くPRする					
対象者（誰に向けて）	シニア会、JCI日本、他LOM、行政、他団体など					
その理由	多くの関係者や来賓に参加してもらうため					
手法（どんな事業をするか）	諸会議・諸大会に参加しPRする。状況に応じてWeb（Zoom・Youtubeなど）を使用する また、ホームページ・SNSなどの媒体を活用する					
その理由	諸会議・諸大会に参加しPRすることで50周年記念式典・記念事業の情報を知ってもらうため50周年記念式典・記念事業の情報ともにPR活動をWebで発信することで、更なる広がりを狙う					
パートナー（ステークホルダー）	シニア会、その他					
その理由	シニア会にも小豆島青年会議所の告知協力をいただくため					
本事業で得られる効果	50周年記念式典・事業への参加者の増加につなげる メンバーの機運が高まっていく					

公益社団法人小豆島青年会議所 2021年度						
50周年記念大会実行委員会概要						
	副理事長	東口和生	委員長	高橋寿明	副委員長	安達周代
事業計画名	50周年記念式典の開催（9月）					
本事業に至る背景並びに現状分析（解決したい問題）	小豆島青年会議所は2021年に創立50周年の佳節を迎えることとなります。周年という機会に、諸先輩方のこれまで活動を振り返りつつ、創始の想いを次代へと引き継ぎ、これから始まる未来がすばらしいものとなるよう、会員一人ひとりが決意を新たに、今後我々がさらに力強く運動を展開していく必要があります。					
事業目的	シニア会、JCI日本、他LOM、行政、他団体などにこれまでのつながりに感謝し、これからのつながりを更に発展させる また、過去のLOMの実績をおさらいして現役メンバーのモチベーションを向上させる。					
申請該当事業	他-1 会員研修事業					
事業内容	式典					
対象者（誰に向けて）	シニア会、JCI日本、他LOM、行政、他団体など					
その理由	シニア会や関係者等には感謝を伝える。また、それ以外の方には小豆島青年会議所のことを知ってもらうことや、関わりを持つことで、今後の活動の幅を広げるため。					
手法（どんな事業をするか）	なるべく多くの参加をかなえられる広い会場にて厳粛で盛大な式典を行う。 ただし、状況に応じてはご来場いただく方を限定させていただく。ご招待させていただいた方以外の方は、オンラインにて式典の様子をライブ配信いたします。					
その理由	青年会議所のスケール感を体感していただくため 安全に式典を開催するため					
パートナー（ステークホルダー）	シニア会、その他					
その理由	シニア会にも協力してもらいより素晴らしい式典にするため 必要に応じて専門家に依頼する					
本事業で得られる効果	現役メンバーには小豆島青年会議所の歴史の理解や先輩方への感謝となるようにする。 シニアの方には、現役メンバーの理解と今後の親睦となる。それ以外の方には小豆島青年会議所のことを知ってもらうことや、関わりを持つことで、今後の活動の幅を広げるため。					

公益社団法人小豆島青年会議所 2021年度						
50周年記念大会実行委員会概要						
	副理事長	東口和生	委員長	高橋寿明	副委員長	安達周代
事業計画名	50周年記念事業の開催（9月）					
本事業に至る背景並びに現状分析（解決したい問題）	少子高齢化による人口構成の変化に伴い、未来を取り巻く社会環境も大きく変化してきています。今後は郷土愛を持つ同士と共に輝く未来を無限に描ける礎と次世代の若者が主体的に描く自由で創造的な未来を築いていく必要があります。					
事業目的	さらなる可能性を導き出して地域の課題に取り組む それぞれの課題に向き合い変革する機会の一助とする					
申請該当事業	公1-2 講座・セミナー					
事業内容	セミナー事業					
対象者（誰に向けて）	シニア会、JCI日本、他LOM、行政、企業、他団体など					
その理由	シニア会員や多くの関係者等には感謝を伝え、また、それ以外の方には小豆島青年会議所のことを知ってもらうことや関わりを持つことで、今後の活動の幅を広げるため。					
手法（どんな事業をするか）	会場にてなるべく多くの参加者へ向けて講師を招き基調講演を行う。（集会形式の場合） 新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、本式典は、ご来場いただく方を限定させていただいております。ご招待させていただいた方以外の方は、YouTubeにて式典の様子をライブ配信いたします。（Withコロナの場合）					
その理由	青年会議所メンバー、行政の方も含めた地域の方に運動を広げるため					
パートナー（ステークホルダー）	専門の講師、行政など					
その理由	住民と行政の協働によるまちづくりに精通しているため					
本事業で得られる効果	地域の課題を理解し、新たなまちづくりへの挑戦に向けた意識の向上をはかり、明るい未来への一助となる。					